

商船三井、大ガス・九電向け新造LNG船で命名式

Edited By LogisticsToday On 2015/12/15

商船三井は15日、子会社が発注した大阪ガス・九州電力向け新造LNG船の命名式が三菱重工業長崎造船所で行われ、大阪ガスの本荘武宏社長が「LNGサターン」と命名したと発表した。

LNGサターンは大阪ガスと九州電力が豪州イクシスLNGプロジェクトから購入するLNGの輸送に従事する。電力・ガス会社向けLNG共同輸送を邦船社が単独で100%保有するLNG船が担うのは初めて。

■LNGサターンの概要

全長：288メートル

全幅：48.94メートル

満水喫水：11.55メートル

LNGタンク：モス独立球形ストレッチタンク方式（連続タンクカバー付）

総トン数：13万8000 トン

タンク容量：15万3000立方メートル

主機関：再熱式蒸気タービン

航海速力：19.5ノット

建造造船所：三菱重工船舶海洋

船舶管理会社：商船三井

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/204990>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.